



5病棟の生活のひとコマ

5月のとある日、5病棟ではプレイルームでパラシュート(パラバルーン)遊びを行いました。テンポの良い曲に合わせて元気よく動くパラシュートに、患者さんは興味津々の様子でした。大きなパラシュートなので動くたびに風をダイレクトに感じられ、ニコニコ楽しそうに参加される方や目をまん丸にして驚いた表情をされる方もみえました。パラシュート遊びの後には中庭へ散歩に出かけ、花壇に咲く菖蒲の花を見に行きました。最後はお花と一緒に記念撮影も行い、皆さん素敵な表情をカメラに向けてくれました。季節を感じながら、楽しいひとときを過ごすことができたと思います。(児童指導員 森 日奈子)



新任

異動のごあいさつ

●小児科

大森 菜令(おおもり まれい)先生



このたびご縁があり、三重病院に入職いたしました。これまで主に愛知県内の病院で勤務してまいりましたが、アレルギー分野でさらに専門性を深めたいと考えておりました。三重病院では、アレルギー疾患をはじめとした幅広い診療に携わりながら、日々多くのことを学ばせていただいております。

新しい環境での生活はまだ慣れないこともありますが、温かい地域の皆さまやスタッフに支えられ、充実した毎日を過ごしております。特に三重の豊かな食文化は大きな楽しみの一つで、新鮮な海と山の幸や地域ならではの料理を味わいながら、三重での生活を満喫しております。

学びを深め、丁寧な診療を心がけてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



●小児科

一木 洋祐(いちき ようすけ)先生



このたび、再び三重病院で勤務させていただくことになりました。以前は2年間の予定で三重

に赴任し、その後一旦地元である埼玉に戻りましたが、三重の土地柄や三重病院の温かい雰囲気が忘れられず、もう一度この地で診療に携わりたいという思いが強くなりました。特に、自分の専門であるアレルギー診療について、より深く学び、実践し、患者さん一人ひとりに還元していきたいと考えています。なかでも、標準的な治療だけでは十分に改善しない難治のアレルギー症例に対して、患者さんやご家族と一緒に悩みながら、より良い治療を探していくことに力を入れていきたいと思っています。また、これまで育てていただいた地元の方々や、送り出してくださった皆さまへの感謝を胸に、その経験を三重での診療に活かすとともに、三重県内にとどまらず、アレルギー

医療全体の発展にも少しでも貢献できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

●小児科

山田 慎吾(やまだ しんご)先生



この度、三重病院に戻ってまいりました、小児科・アレルギー科の山田慎吾と申します。

昨年度までは、アメリカ・オハイオ州のシンシナティチルドレンズホスピタルにて、アレルギー疾患に関する研究に携わっておりました。4月1日より三重病院での勤務を再開し、7月からは小児科急性期病棟(2病棟)の責任者として勤務させていただくこととなりました。

これまでの経験を活かしながら、医師、看護師をはじめ多職種の皆様と協力し、患者様やご家族に安心していただける、温かく、より良い病棟づくりに努めてまいります。

至らぬ点もあるかと存じますが、ご指導・ご支援のほど、何卒よろしくお願いいたします。